



マブチグループ
社会・環境報告書 2015
Social & Environmental Report



編集にあたって

当社は、2001年に「環境報告書」の発行を開始し、2008年からは、報告書のタイトルを「環境報告書」から「社会・環境報告書」に変更し、地球環境保全のための環境活動実績に加え、社会的な取り組み実績の報告を始めました。

本報告書を通して、当社の企業市民としての社会的責任を果たす姿勢や状況についてご説明し、当社グループと関わるすべての方々とのコミュニケーションを更に充実させ、より良い今後の活動を目指してまいります。

なお、環境配慮の観点から、印刷物ではなく、電子化（PDF）した資料をホームページに掲載しております。

CONTENTS

■ 会社概要	02
■ トップメッセージ	03

モーターによる社会貢献

■ 環境にやさしい製品づくり	06
----------------	----

社会性報告

■ コーポレートガバナンス	10
■ コンプライアンス	11
■ リスクマネジメント	12
■ ものづくり・教育に対する支援活動	14
■ 地域支援活動	16
■ 活気のある職場づくり	18

環境報告

■ 環境マネジメント	22
■ グリーン調達	23
■ 環境にやさしい企業運営	24
■ 環境コミュニケーション	26
■ 環境リスクマネジメント	28
■ 環境データ	29

対象期間：2014年度（2014.1.1～2014.12.31）

対象範囲：モーターの設計、製造、販売、サービスの提供に関わる環境活動及び社会的な取り組みの内容

対象組織：マブチグループ

【日本(本社)】

・マブチモーター株式会社

【米州】

・MABUCHI MOTOR AMERICA CORP.(アメリカマブチ)
・MABUCHI MOTOR MEXICO S.A.DE.C.V.(メキシコマブチ)

【欧州】

・MABUCHI MOTOR (EUROPE) GmbH(ヨーロッパマブチ)

【アジアパシフィック】

・華淵電機工業股份有限公司(台湾マブチ)
・萬寶至馬達股份有限公司(高雄マブチ)
・MABUCHI MOTOR VIETNAM LTD.(ベトナムマブチ)
・MABUCHI MOTOR DANANG LTD.(ダナンマブチ)
・MABUCHI MOTOR (SINGAPORE) PTE.LTD.(シンガポールマブチ)
・MABUCHI MOTOR KOREA CO.,LTD.(韓国マブチ)

【中国、香港】

・萬寶至實業有限公司(香港マブチ)
・万宝至馬達(東莞)有限公司(東莞マブチ)
・万宝至馬達(鷹潭)有限公司(鷹潭マブチ)
・万宝至精工(東莞)有限公司(路東マブチ)
・東莞道ジャオ万宝至馬達有限公司(道ジャオマブチ)
・万宝至馬達(江西)有限公司(江西マブチ)
・万宝至馬達大連有限公司(大連マブチ)
・万宝至馬達瓦房店有限公司(瓦房店マブチ)
・万宝至馬達(江蘇)有限公司(江蘇マブチ)
・万宝至馬達(上海)有限公司(上海マブチ)
・万宝至馬達(上海)有限公司 重慶分公司(重慶マブチ)
・万宝至馬達貿易(深圳)有限公司(深圳マブチ)

夢に力を

マブチモーターは「夢」とともに生まれ、育ちました。

子供たちの夢、技術者の夢、お客様の夢…。そうした多くの人々が描く「夢」に応えることで、私たちは歩み、成長してきたのです。

そして変革の時代21世紀を迎えて、「モーター」という小さな機能部品は、今も世界中の人々の暮らしや社会のさまざまなシーンで新しい「夢」を創出し続けています。

私たちは、今という時代、そして未来を見据えて、より良い製品をより安く安定的に世界中の皆様にお届けしていくことで、その「夢」の一つひとつを動かす「力」を生み出し続けていきます。



創業者が1947年に発明した
馬蹄型マグネットモーター

会社概要

■ 商 号	マブチモーター株式会社 MABUCHI MOTOR CO.,LTD.	■ 連結業績	売上高 1,225億4千4百万円 当期純利益 180億9千万円 (2014年12月期)
■ 創立年月日	1954年1月18日	■ 本社所在地	千葉県松戸市松飛台430番地 〒270-2280 TEL:047-710-1111(代表)
■ 事業内容	小型モーターの製造販売	■ 技術センター	千葉県印西市竜腹寺280番地 〒270-2293 TEL:047-710-1222(代表)
■ 資本金	207億481万円		
■ 代表者	代表取締役社長 大越博雄		
■ 従業員数	本社:738名 グループ:25,354名 (2014年12月末現在)		

マブチモーター環境の歩み

1993年	「経営基軸」において「地球環境と人々の健康を犠牲にすることのない企業活動を行う」ことを明文化	2002年	六価クロムフリーモーターのサンプル出荷開始
1997年	環境問題への具体的な対応を図るため、「環境管理委員会」を設置	2004年	最新の省エネ技術を用いた本社新社屋竣工
1998年	マブチグループの「環境基本方針」を制定	2006年	全製品を、欧州RoHS/ELV指令適合品に切り替え全拠点で「グリーン調達説明会」を開催
1999年	ISO14001の認証取得	2008年	「環境報告書」を「社会・環境報告書」に変更(社会的な取り組みについても掲載)
2000年	グリーン調達活動開始(モーターのカドミウムフリー化代替材選定評価完了)	2012年	環境基本方針を改定し、「マブチグループ環境方針」とする
2001年	「環境報告書」を発行開始 はんだの鉛フリー化量産準備完了	2014年	ネオジム磁石を使用しない小型・高トルクの パワーシート用モーター(RZ-46BWA)を販売開始



2015年5月
マブチモーター株式会社
代表取締役社長

大越博雄

事業活動を通じて 社会に新しい価値創造を

マブチモーターは、1954年、世の中の子供たちが安全に楽しむことができ、かつ良質で安価なモーターを作りたいとの思いを胸に設立されました。当社におけるすべての活動を貫く根本的な考え方として、経営理念「国際社会への貢献とその継続的拡大」を掲げ、マブチグループ全社員が、企業は社会に貢献するため、人々の幸せに寄与するために存在するとの認識を持ち、日々の活動に取り組んでいます。

当社の経営理念は、社会と企業双方の価値を両立させ、企業の事業活動を通じて社会的な課題を解決していくことを目指すCSV（Creating Shared Value：共通価値の創造）の考え方とまさに一致するもの

であります。社会的な問題の解決活動と企業の事業活動とが同じベクトルで持続的に共存しうる形での社会貢献こそが当社の目指すべき方向です。

具体的には、より良い製品をより安く安定的に供給し、お客様の最終製品の小型・軽量化や省電力化、社会全体の省資源・省エネルギー化に貢献すること、人々の暮らしを便利に、快適に、安全にするお手伝いをするところ、専門メーカーであるマブチモーターの最重要使命と捉え、モーターの可能性を徹底的に追求し、その価値を磨き上げることに邁進してまいります。

当社は、1964年の香港進出を皮切りとして、グローバルな生産・供給体制の構

築を積極的に進め、その過程において、進出先での雇用の創出や技術移転を通じて、当該地域の経済発展、人材育成に貢献してまいりました。昨年は、アジア以外では初となる生産拠点をメキシコに設立し、グローバル生産・供給体制構築の取り組みは、新たなステージへと進み、これを契機として、更にワールドワイドに社会への貢献を拡大してまいります。

また、当社は企業市民としての社会貢献活動についても積極的に取り組んでおります。特に未来を担う青少年の「夢に力を(Actuating Your Dreams)」与えるべく、モーターを通じた教育支援を継続的に行っています。モーターとの出会いが、「ものづくり」や「技術」に関心を持つきっかけにもなります。工作教室や出前授業で楽しそうに目を輝かせている子供たち、ロボットコンテストで創意工夫を凝らしている学生たちを見ると、彼らの今後の成長に夢が

ふくらみます。社会を創造する主役は人であり、特に次世代の技術者の育成は、国際社会にとって極めて重要です。当社モーターとその「技術」、そして「ものづくり」を体験する活動を通じて、未来を担う人々の育成に貢献することができれば、大きな喜びであります。

現代社会では、経済発展に伴う資源・エネルギーの枯渇や環境破壊、格差や労働問題など幾多の問題が起きています。企業は社会から切り離されて存在することはできず、社会の繁栄なくして企業の存続はあり得ません。マプチグループはこれからも、事業を通じて、さまざまなステークホルダーの皆様とともに、こうした社会的問題の解決に向けた活動を積極的に進めてまいります。

今後も、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

経営理念 国際社会への貢献とその継続的拡大

経営基軸

1. より良い製品をより安く供給することにより、豊かな社会と人々の快適な生活の実現に寄与する
2. 広く諸外国において雇用機会の提供と技術移転を行い、それらの国の経済発展と国際的な経済格差の平準化に貢献する
3. 人を最も重要な経営資源と位置付け、仕事を通じて人を活かし、社会に役立つ人を育てる
4. 地球環境と人々の健康を犠牲にすることのない企業活動を行う





ダナムマブチは、環境対応に優れた製品を生産している企業として、ベトナム中央投資&企画部より『2014年度グリーンブランド賞』を受賞しました。

モーターによる 社会貢献

マブチグループは、より良い製品をより安く安定的に供給し、お客様の最終製品の小型・軽量化や省電力化、社会全体の省資源・省エネルギー化に貢献するため、モーターの可能性を徹底的に追求し、その価値を磨き上げていきます。

モーターによる社会貢献

環境にやさしい製品づくり

当社モーターの省エネ化、小型・軽量化、高出力化、長寿命化などにより、お客様製品の性能アップに貢献し、社会全体の環境対応のお手伝いをしています。

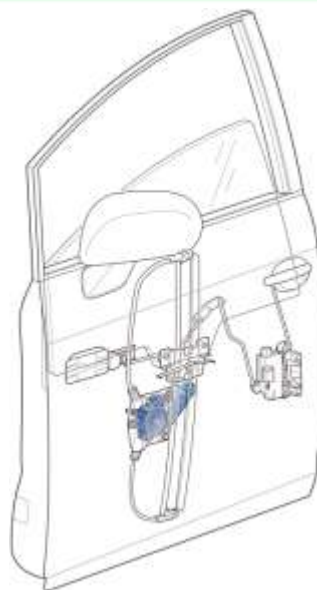
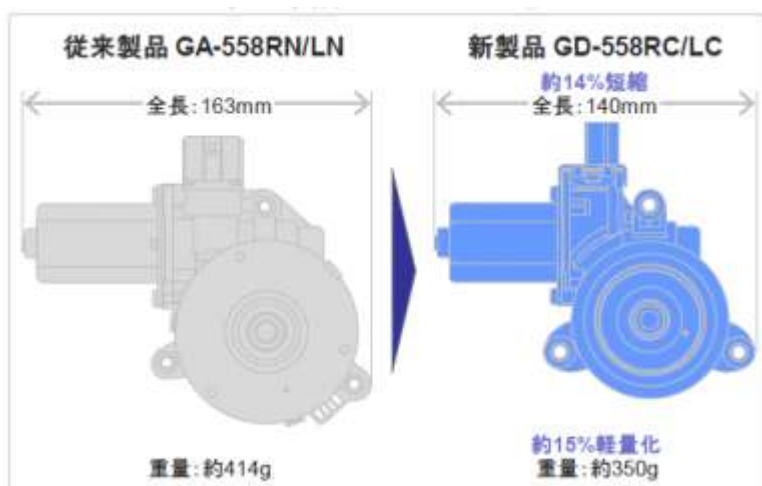


PW（パワーウィンドウ）用モーター GD-558シリーズ

GD-558シリーズは、フェライト磁石を採用しながら、従来製品比で全長を約14%短縮、重量を約15%軽量化したパワーウィンドウ用モーターです。当社が強みを持つ小型・軽量・低コスト設計を更に追求した製品となっており、車体の軽量化による燃費改善並びにコスト低減に貢献いたします。



当社従来製品「GA-558RN/LN」とのサイズ比較





エンジン周辺機器用モーター RS-4F5WA

RS-4F5WAは、耐熱性、耐振動性を向上し、自動車のエンジン周辺の厳しい使用環境に適応しており、エンジン吸排気・冷却水バルブやターボチャージャーアクチュエーターなどの電子制御用にご使用いただくことで燃費向上や排気中の有害物質低減に貢献いたします。

【製品の特長】

1. 耐熱性を向上
耐熱性素材を使用し、エンジン周辺の厳しい温度環境(-40℃～+150℃)に対応
2. 耐振動性を向上
各部の強度を高め、正弦波振動試験※にて40G相当の振動耐久性を実現
3. 電気ノイズ規格に対応可能
チョークコイルやコンデンサなどの素子を内蔵可能な構造を採用し、電気ノイズ規格に対応

※製品に周期的な振動を与え、性能劣化や機械的弱点を判定する試験

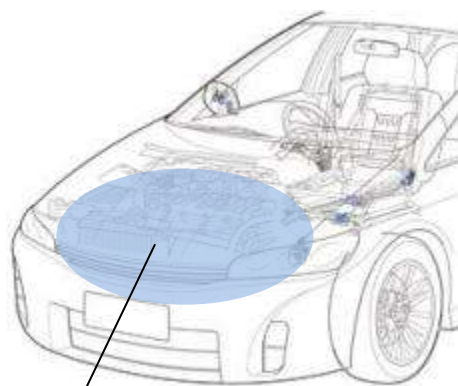


出力軸：エンドベル側



出力軸：ハウジング側

サイズ：直径28.9mm×長さ37.8mm
重量：約98g



エンジン周辺機器用

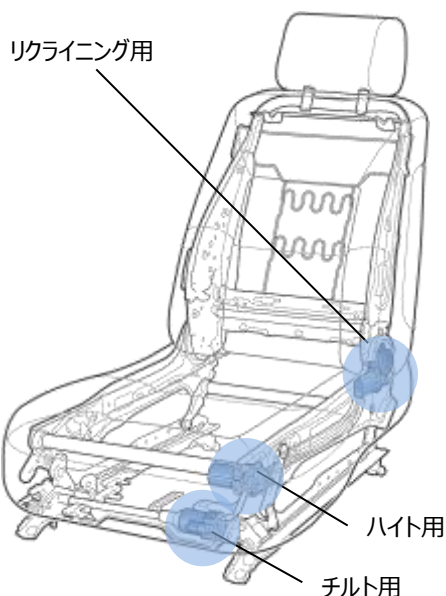


パワーシート用モーター RZ-46BWA

RZ-46BWAは、当社が強みを持つ小型・軽量設計を追求し、磁気回路の最適化により、希土類のネオジム磁石を使用せずにフェライト磁石にて小型・高トルクを実現しており、車体の軽量化による燃費改善に貢献いたします。



サイズ：直径34.0mm×長さ82.1mm
重量：約260g



【製品の特長】

1. ネオジムフリー
磁気回路の最適設計を追求し、フェライト磁石にて小型・高トルクを実現
2. センサレスポジショニングに対応
回転センサーを使用せずにモーターの回転角度を検出・制御するセンサレスポジショニングに対応（オプションにて回転センサーの内蔵も可能）
3. EMC(※1)規格に対応
車載機器に求められるCISPR 25(※2) CLASS 3に対応

※1 Electromagnetic Compatibility (電磁両立性) 電子機器の放射する電磁波が他の機器の動作に影響を与えず、更に、電子機器が外部からの電磁波を受けた際に問題なく動作する耐性

※2 CISPR(国際無線障害特別委員会)の定める「車載受信機保護のための妨害波の推奨限度値及び測定法」



複写機・複合機（MFP）用モーター ID-529XW、ID-549XW

インナーローター型ブラシレスモーター「IDシリーズ」によるステッピングモーターの置き換えで、近年の複写機・複合機（MFP※1）市場における、小型・軽量化や省電力のニーズに対応し、省エネ・省資源に貢献しております。

【製品の特長】

1. 省電力・小型・軽量化
同等出力のステッピングモーター比（※2）で、使用電力量を削減し（※3）、体積を約18%小型化、重量を約37%軽量化
2. 駆動回路・エンコーダーを内蔵
モーター駆動用のコミテーション回路と回転数・位置検出用のエンコーダー素子の搭載により、高精度な制御が可能
3. 高い速度追従性
独自のローター構造により、イナーシャ（慣性）、トルクリップル（※4）を低減。ステッピングモーターと同等以上の速度追従性を実現
4. 共振・脱調なし
ステッピングモーター特有の「低速域での共振」「高速域での脱調」がなく、幅広い速度域で高い信頼性を実現
5. ネオジム磁石不使用
市場価格や供給が不安定なネオジム磁石を不使用



左: ID-549XW
サイズ: 直径42.0mm × 長さ50.0mm
重量: 約215g
右: ID-529XW
サイズ: 直径42.0mm × 長さ39.0mm
重量: 約140g

- ※1 マルチ・ファンクション・プリンター（複写機、プリンター、スキャナー、ファクシミリ）の複合機器）
※2 他社製2相HB型ステッピングモーター（42mm角 × 長さ48mm）とID-549XWの比較
※3 当社独自の測定基準による
※4 モーターが1回転する間に発生する周期的なトルクの変動

自動原稿送り装置（ADF）

・原稿を連続して原稿台（スキャナー部）に送る装置

自動排紙装置

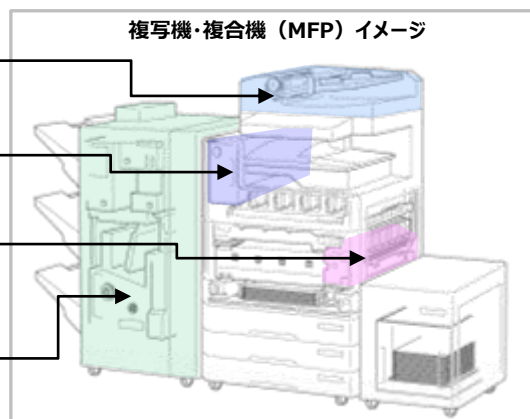
・印刷後の用紙を排紙トレイへと送る装置

自動給紙装置

・用紙を給紙トレイから印刷位置にセットする装置

自動後処理装置（フィニッシャー）

・印字された用紙に、「ステープル綴じ」や「パンチ穴開け」等の後処理を施す装置



担当者に聞！

環境性能の向上は、市場の強いニーズです。このIDシリーズを多くのお客様にご使用いただけるよう、製品開発、生産管理、品質保証、営業担当者と生産拠点スタッフが1つのチームとなって協力して開発・販売しています。今後もより良い製品づくりをしていきます。





コーポレートガバナンス

コンプライアンス

リスクマネジメント

ものづくり・教育に対する支援活動

地域社会支援活動

活気のある職場づくり

社会性報告

マブチグループは、より良い社会の実現と、その持続的発展のため、社会の一員としてのさまざまな社会的責任を果たし、持てる資源を有効に活用し、地域社会に貢献する活動をグローバルに行っています。

コーポレートガバナンス



当社は、これらが確実に実践されるための各種機能をより充実させていきます。



また、当社は「内部統制基本方針」を制定し、リスクマネジメント体制やコンプライアンス体制の更なる強化、充実を図っています。

コーポレートガバナンス | マブチモーター 社会・環境報告書 2015

コンプライアンス

法令遵守や企業倫理の維持は、企業としての社会的義務であると同時に、企業が存続・発展していくための経営の根幹です。私たちは、マブチグループ社員一人ひとりが理解して守るべく、コンプライアンス体制を強化しています。



マブチモーター倫理規範

当社は、経営理念として掲げる「国際社会への貢献とその継続的拡大」を実現していく上で、各国・地域の法令・条例・規則などを遵守するのはもちろんのこと、社会から求められる企業倫理に沿った事業活動を行うことを大前提としております。

そのため、それらの行動や判断の基準を定めた小冊子「マブチモーター倫理規範」を発行し、当社グループ全役員・社員に配付しています。同冊子は、時代とともに変化するビジネス環境に適応するため、適宜改訂しています。

倫理規範の中でも特に重要な項目については、ルールや手順を整備し、また、必要な対象者に教育・研修を行い、その周知を図っております。

海外拠点に対しても、中国、アジアの生産販売拠点で関係者を対象に研修会を実施するなど、当社は、コンプライアンスを重視した経営を目指していること及び「マブチモーター倫理規範」の周知徹底を行い、コンプライアンス意識の向上を図ってまいりました。

2011年5月には、コンプライアンス体制の一層の強化・充実を図るため、本社取締役会承認のもと、グループ全拠点においてコンプライアンス担当役員を設置しました。コンプライアンス担当役員は、本社の内部統制担当役員による統括の下、個々の拠点におけるコンプライアンス活動に関する責任者として、拠点内の内部牽制の強化と自律的かつ継続的なコンプライアンス活動の推進に関する中心的な役割を担います。

更に、2012年には、法改正等に対する適時対応に資することを目的として、すべての拠点において、「マブチモーター倫理規範」に係る法令監視体制を確立いたしました。

また、これらコンプライアンスに関する業務遂行の不備などの継続的な是正・改善を目的として、本社の内部監査部門が、コンプライアンスに関するルールや手順の遵守状況、その他の倫理に反する行為について、全海外拠点を含め、定期・不定期に監査を行い、その結果を経営トップに報告しています。



倫理規範ホットライン

コンプライアンスに関する情報の伝達や相談について、通常のルート（上司や組織部門の窓口など）とは別に、内部監査部門が管理する匿名性が担保された「倫理規範ホットライン」を設置しています。

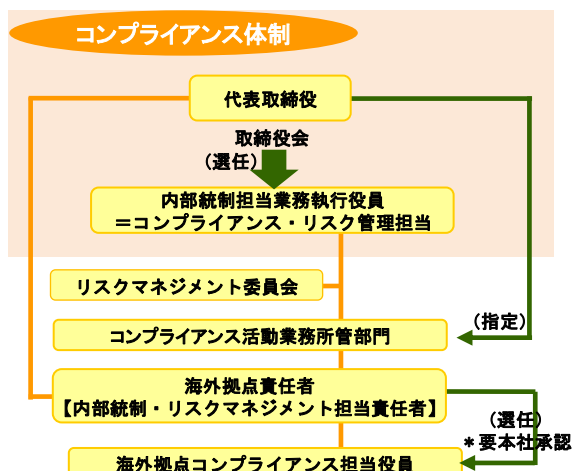
また、この制度の利用の如何に拘らず、公益通報者保護法を遵守し、相談者の不利益を発生させないことを会社が約束するトップメッセージを、役員を含む全社員に発信しています。

当社は、お取引先様とも日頃から誠実で公正なお取引引きと相互信頼関係の構築に努めていますが、社会的な不祥事が多発している情勢に鑑み、問題発生への未然防止並びに拡大防止体制を強化するために2008年より、「倫理規範ホットライン」の対象範囲を、社員のみならずお取引先様の一部に拡大しています。

【倫理規範基本方針（概要）】



1. マブチグループのすべての役員・社員は、会社の利益や業務に優先して、会社所在国・地域の法令・条例・規則及び国際ルールを守ります。
2. お取引先様をはじめ、株主・投資家、地域社会など広範な利害関係者への責任を十分認識し、社会倫理に反する行為を厳に慎みます。
3. 法規則、社会倫理の中でも特に注意を要する事項に関しては、規程類などに明確に記載し、周知徹底を図ります。そして、すべての役員・社員は、これらを誠実に守ります。



リスクマネジメント

マプチグループは、グローバルな事業活動を遂行し永続的な成長軌道を確実なものにするため、多様化する事業活動上のさまざまなリスクの軽減・最小化を図るべく、リスクマネジメントの充実・強化に取り組んでいます。

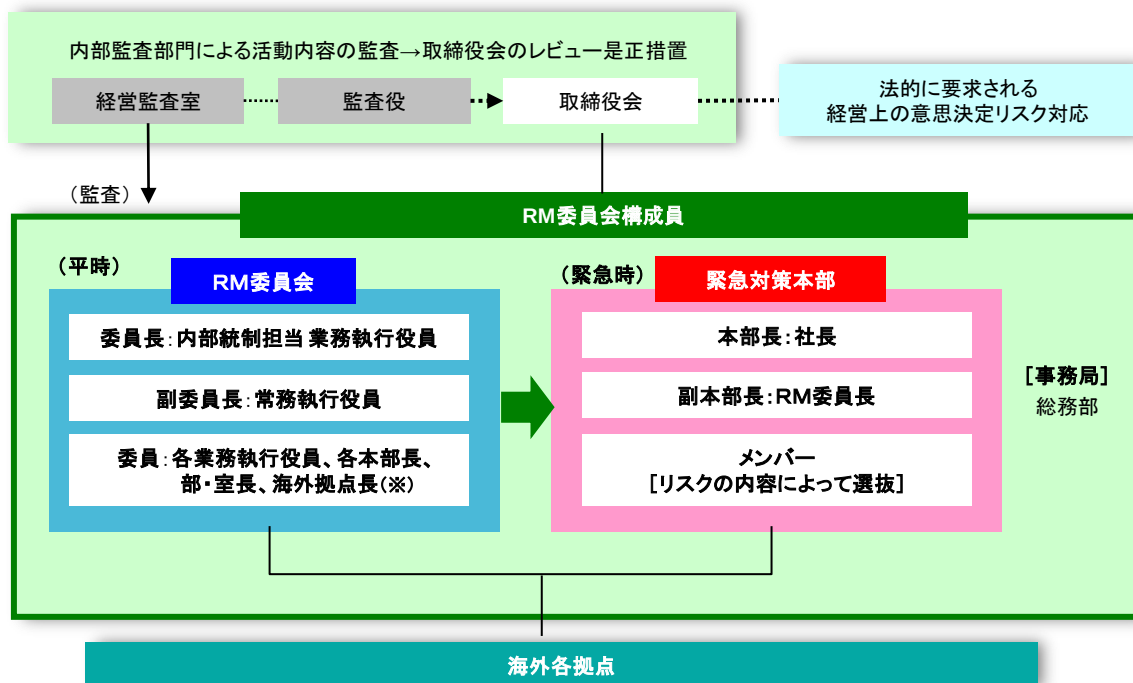


リスクマネジメント体制

当社はリスク発生の未然防止やリスクが発生した場合の損害の最小化を目的として「リスクマネジメント委員会」を設置しています。マプチグループ全体として最適な対応を可能とする体制を確立するとともに、この体制をベースに、緊急時における対応

・方針・各種マニュアルなども整備しております。
また、各部門が業務上個別に抱えるリスクへの対応については、マプチグループの目標管理制度に組み込まれ、トップマネジメントの承認、進捗管理のもと、部門ごとに展開しています。

RM（リスクマネジメント）委員会の位置づけ



※ 海外拠点長は非常勤メンバーとする(RMに関して必要な情報共有は随時行う)

考えられるリスク

【外的要因】

自然災害、社会犯罪、国際・政治情勢
金利・通貨・資材価格等マーケット流動性リスクなど

【内的要因】

製品品質・安全性、コンプライアンス、情報通信システム、知的財産権、労災、設備災害、環境、労務、人権、風評、サプライヤー、物流、M&Aなど

RM委員会の対応

- ① 人命（安全）確保
- ② コンプライアンス
- ③ 情報セキュリティ
- ④ 生産・供給停止 分類・特定

それぞれリーダー部門を決め、経営陣と関連幹部社員とで連携を図りながら、グループ全体でのリスク対策活動を継続的に実行



災害対応マニュアル&各種訓練

当社では、「管理職の初期行動・指示マニュアル」のほかに、「災害時一般社員行動マニュアル」の作成、「大規模災害発生時緊急対応カード」の配付、「安否確認システム（全社員対象）」の導入などを行うとともに、役員（緊急対策本部の設置・運営）はもとより、人事部門、総務部門（ビル管理業務委託先を含む）、情報システム部門などの災害時に重要な役割を担う部門において対応マニュアルを策定しております。

また、年に1回以上、防災教育や各種訓練（避難・通報・消火訓練、救急救護訓練、安否確認訓練、帰宅報告訓練ほか）を定期的実施し、全社員が落ち着いて適切な行動をとれるように努めております。

更に、災害時に必要な備品・資機材や飲食料、生活用品を備蓄し、災害発生時の安全確保や帰宅困難者に対する備えにも万全を期しています。特に、地下水を飲料水として日常的に使用している当社は、断水時にも相当量の飲料水が確保できることから、松戸市と給水協定を締結し、地域の被災者に対する給水支援を行える準備もしています。



大規模災害発生時緊急対応カード



避難訓練（本社）



消防署指導のもと実施した救急救護訓練（本社）



消火演習（鷹潭マブチ）



救急救護訓練（台湾マブチ）

資機材等の備蓄・管理（抜粋）

- 帰宅困難者の発生に備えて、3日間生活できる分量の飲食料及びトイレ用水を備蓄する。
- 停電時の対策として、緊急対策本部運営及びコンピューターシステム保護のため必要な自家発電装置及び燃料(24時間稼働分)を備える。
- 災害時優先電話を本社屋に2回線常備する。
- 安全衛生委員会と協働し、設備・什器・備品等の転倒防止策を講じる。
- 施設・什器・備品等の復旧または応急措置、被災社員の支援、地域社会に対する支援を目的に、必要な機器・機材等を備える。
- 緊急避難時に必要なヘルメットを備えるとともに、帰宅者に配付する飲料水を備蓄する。
- 停電時を想定した連絡手段として、災害用PHSを備える。



情報セキュリティポリシー

当社は私どもが保有する情報資産の管理及び情報セキュリティ管理を適切に行い、情報の漏洩、改ざん、滅失、盗難等を防止することが企業の社会的責務の一つであると認識し、役員を含めたすべての従業員が情報セキュリティの必要性及び責任について理解を深めるとともに、情報セキュリティの確保に万全を期しております。



個人情報保護方針

当社は、個人を識別し得る情報（以下「個人情報」という）を適切に取扱い、保護することを当社の重要な責務であると認識し、「個人情報保護方針」に基づき、個人情報の保護に努めます。

社会性報告

ものづくり・教育に対する支援活動

当社は、経営理念「国際社会への貢献とその継続的拡大」を实践すべく、地域社会・国際社会への支援活動を行い、広く社会の発展に貢献しています。中でも、未来を担う学生・子供たちに「ものづくり」や「理科」の楽しさを伝え、成長をお手伝いできる活動に力を入れています。



ロボコンへの協賛

当社は、未来を担う若き技術者の育成と科学技術の発展に寄与できることを願い、2002年より「高専ロボコン」「ABUロボコン」、2004年より「大学ロボコン」に協賛し、継続して大会運営支援やモーターの提供などを行っています。



大学ロボコン2014

高専ロボコン2014



モーター支援

高専ロボコンへのモーター支援 累計約19,200個



ギヤヘッド付RS-555VC (上)
ギヤヘッド付RS-385PH (下)



JC/LC-578VA
他

子供たちに「理科」の楽しさを伝えています。

出前授業

2008年より毎年、当社社員による理科出前授業を本社所在地域（松戸市）の小学校を対象に実施しています。



科学技術館での展示、イベント実施

1983年より科学技術館（東京都・千代田区）にて常設展示を行い、モーターの基本原理や私たちの暮らしの中で活躍しているモーター、モーター工作などをわかりやすく紹介しています。また、2009年度から科学技術館との共催で、モーターの回る原理などを説明する理科実験教室を開催しています。



子供たちとともに「ものづくり」を楽しむ！

夏休み工作教室

本社所在地域（松戸市）の児童（小学4～6年生）を対象とした「夏休み親子モーター工作教室」を、本社社屋で毎年開催しており、2014年の開催では、延べ参加者数が1,000人を超えました。たくさんの子供たちにもものづくりの楽しさを体感していただくこの工作教室を今後も継続して行います。

夏休み以外にも、千葉県立現代産業科学館や静岡ホビーショーで工作イベントを行い、木工工作を楽しんでいただいております。

千葉県立現代産業科学館での工作イベント



社員が講師を務める
夏休み工作教室
各班に一人
サポート講師を配置



静岡ホビーショーの工
作イベント(作った工作
に色をつけて試走)

職場体験・見学

本社では、地域小学校のキャリア教育の一環で行われている職場体験を継続的に受け入れています。また、2014年は、千葉県立特別支援学校である流山高等学園学生の会社見学を受け入れ、働くことを身近に感じていただきました。

海外拠点でも、地域の児童を招待し、職場見学を実施しています。



本社見学



鷹潭マブチの地元小学生見学

インターンシップ制度

これから社会に出ていく学生に就業体験の機会を提供し、働くことを実感、当社の理念の理解を深めるインターンシップ制度を行っています。

2014年は、高等専門学校生、大学院生、米国の大学生のインターンシップを本社及び東莞マブチにて受け入れました。



(本社)



(東莞マブチ)

海外拠点の教育支援

大連マブチや道ジャオマブチでは、校舎の建設や奨学金の支給、教育団体への寄付、書籍や学習用品の贈呈などの教育支援を行っています。

こういった活動に対し、地元政府より複数の表彰を受けています。2014年、大連マブチは、長年の教育支援の功績が認められ、政府機関より「もっとも美しい希望プロジェクト団体」の表彰を受賞しました。



希望小学校へ書籍・運動用品贈呈（大連マブチ）



上：中学校へP C教室を寄贈
下：児童への学習用品を支援
（道ジャオマブチ）



社会性報告

地域支援活動

当社は、地域の環境保護、社会福祉活動などを継続的に実施しています。



地域社会との共生を目指す本社

本社棟建設時には、『地域社会の共生』をコンセプトの一つとして、敷地内の開放的な前庭に、『ビオガーデン』と呼ぶなだらかに流れる水景と野原を配置しました。築10年を経た現在でも、周囲の緑との調和に努めた植栽管理を継続し、生物多様性の保全に配慮した地域特有の植生の再現や、外来種の排除などを含め、地域と調和し、地域環境の向上に貢献しています。



野鳥も訪れるビオガーデン



2013年松戸市景観大賞受賞
(本社)

海外拠点でも、植林・美化・清掃活動を積極的に行っています。



美化活動（東莞マブチ）



緑化活動（路東マブチ）



工場周辺の町清掃（上：大連マブチ、下：鷹潭マブチ）



地域支援

東莞マブチでは、社員から集めた衣類を必要とされる人々に寄付する活動を、継続的に実施しています。道ジャオマブチは地域貢献として、所在地域である

東莞市振興のために開催された『2014年美食祭り』に、65名の社員をボランティアとして派遣し、開催期間中の支援活動を行いました。



献血活動

当社は、本社はじめグループ全体で積極的に献血活動に協力しています。



東莞マブチ



本社



台湾マブチ



江蘇マブチ

社会福祉活動

お年寄りや子供たちとの交流、病気の方への支援を行っています。

マブチグループは、児童養護施設や老人ホームへの慰問活動を定期的に行っています。



左：老人ホーム、右：障がい児童施設への慰問活動
(ベトナムマブチ)



病気の方への支援
(東莞マブチ)

社会性報告

活気のある職場づくり

当社は経営基軸の中で「人を最も重要な経営資源と位置付け、仕事を通じて人を活かし、社会に役立つ人を育てる」と掲げ、海外拠点も含め、社員としての基本的権利を尊重し、社員一人ひとりが自己実現、自己成長ができ、働きがいを感じられる職場づくりに積極的に取り組んでいます。



人事評価制度・自己申告制度

当社の人事評価制度は、さまざまな役割を果たす社員一人ひとりの貢献を的確に把握し、会社の成長と社員の成長がともに実現できることを目指しています。そして、この制度をマネジメントツールとしてだけでなく、人材育成ツールとしても積極的に活用しています。

また、社員一人ひとりのやる気と能力を引き出し活用するためには、「適材適所」と「職場風土醸成」が重要です。それを検討し実現する上での必要情報として、社員の職務に対する意識を把握することを目的とした定期的な社員の自己申告を実施しています。



社員表彰制度

当社は、永年(30・20・10年)勤続、社業に貢献、他の模範となる行動、地域社会貢献などを行った社員に対して、毎年創立記念式典にて表彰状を授与する制度を行っております。これは、マブチグループ全社員を対象としたもので、2014年の社長賞は、アメリカマブチと本社社員が協業してあげた成果に対して贈られました。



ワーク・ライフ・バランス

当社は、社員がやりがいや充実感を持ちながら働くとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じた働きやすい環境づくりを推進しています。

法令を上回る内容の育児休業期間設定及び子育て中の社員の時短制度の導入などの育児休業をはじめとするファミリー・フレンドリー施策を推進し、千葉県の「社員いきいき！元気な会社宣言」にも積極的に参加するなど、従業員にとって働きやすい職場環境づくりに努めています。

2014年3月26日には、千葉労働局より、次世代育成支援対策推進法に基づく「基準適合一般事業主」として認定を受け、次世代認定マーク「くるみん」を取得しております。



働きやすい環境づくりにむけて

- ・育児休業(3年)・介護休業(1年)
- ・育児・介護休業中の自己啓発支援
- ・配偶者出産時休暇制度：取得率100%
- ・不妊治療のための低利融資制度
- ・ベビーシッター育児支援割引券の利用
- ・育児・介護のための勤務時間短縮や所定外労働免除などの措置の導入
- ・有給休暇取得促進
- ・福利厚生施設の充実

など



障がい者雇用促進

当社は、障がいのある人がない人と同様に、その能力と適性に応じた雇用の場に就き、地域で自立した生活を送ることができるような社会の実現を目指して雇用を促進しています。

大連マブチでは、現在全従業員に占めるその割合が、中国の雇用条例数値を上回っており、社内での生活、仕事などあらゆる面において、障がいを持つ人の特徴を配慮した措置を設け、一人ひとりが快適に仕事ができる環境づくりに努めています。

本社においても、障がい者雇用比率が、日本の「障害者雇用促進法」に定める法定雇用率を上回っております。

障がい者が働きやすい職場(大連マブチ)





海外拠点実務交流制度

マブチグループ全体の一体感醸成、協働体制の構築、情報の共有化、総合力アップなどを狙いとして、海外拠点スタッフの本社への出張機会を意識的に設け、実務を通じた交流を2009年から実施しています。今後もこの制度を充実させながら、継続的に実施していきます。



長期出張中の
東莞マブチ社員（本社）



従業員が学び成長できる研修制度

会社が行う教育（研修）制度は、研修を受けた社員が自律性を持ち、自ら学び成長していくための一つのプロセスと考えています。

そのため、新入社員・入社3年目・若手中堅職・チームリーダー・管理職等各レベルに合わせた研修や経営戦略講座、社員の経験を活かし伝える講座など、多様な視点で、研修・講座を随時行っています。



さまざまな形の研修を開催（本社）



教育支援制度・資格取得奨励制度

◇英語学習支援制度

社員が国際社会への貢献を具現化できるよう、会社全体で英語を学習する風土づくりのため

- ・TOEIC受験の機会提供
- ・TOEIC対策講座開催
- ・短期留学制度
- ・トレーニー制度

などの施策を行っています。また、海外からのインターンシップ生による英会話教室や専門知識講義により、グローバルコミュニケーション力の向上を図っています。



海外からのインターンシップ生による

上：英会話教室

下：「英文基本契約書」説明会
（本社）

◇資格取得奨励制度

社内に「自ら学ぶ風土」を醸成し、業務遂行に役立つ知識を幅広く習得することを狙いとして「資格取得奨励制度」を設け、自己啓発を促進しています。

また、「マブチビジネススクール」（通信教育）を毎年2回開講し、受講修了者にはその費用を助成することで、多くの社員が自由に積極的に学べる風土を醸成しています。

◇多目的自習室を設置

語学や資格取得に向けて、個人の目標・レベルに合わせた学習や、グループディスカッションなどに利用できるよう部屋を社内に開設し、パソコン・無線インターネット環境・各種教育ソフト・書籍・



多目的自習室（本社）

英語の新聞・雑誌などを用意し、社員各自が業務前後や休み時間などを活用して自己啓発に役立てるようになっています。



海外拠点での人材育成の取り組み

マブチグループでは、毎年拠点代表者が一堂に集まり、技能競技会を開催しています。優秀な成績を獲得した社員には、表彰状が授与されます。各拠点でも、同種のイベントが行われ、社員同士が切磋琢磨して技術の向上を図っています。

また、大連マブチでは、人材育成のために、通信教育によって短期大学、大学を卒業した社員に対して奨学金を贈る制度を設けています。





社員や家族が楽しめるイベントの開催

当社は、会社で働くすべての人々のコミュニケーションの円滑化と社員の愛社精神及び一体感の醸成を目的に、さまざまな活動を行っています。



上：家族と一緒に楽しむガーデンパーティ
下：所属対抗ボウリング大会（本社）



心と身体の健康への取り組み

社員の心と身体が健康で、いきいきと働けることは、社会生活の基礎であり、あわせて企業の活力向上につながると考え、本社では20年以上前からメンタルヘルス調査を実施するとともに、社内カウンセラーの設置や「メンタルヘルス講習会」の開催をしています。

また、人間ドックを受診希望する35歳以上の社員に対する受診費用補助や、健康診断後に産業医による健康相談などを行っています。

海外拠点においても、それぞれの国や地域の状況に合わせて、社員の心と身体の健康への取り組みを展開しています。



女性向け健康講座・健診を実施（江蘇マブチ）



海外拠点の社員参加イベント

海外拠点でも、定期的にスポーツ大会や社員旅行、文化祭など、社員が参加できるイベントを実施しています。



バスケットボール大会（江西マブチ）



社員旅行（左：韓国マブチ、右：上海マブチ）



新竹県労使運動大会出場（台湾マブチ）



マラソン大会に出場
（ヨーロッパマブチ）



健康のためにバドミントン活動（深センマブチ）



自転車最遅競争（ベトナムマブチ）



環境マネジメント

グリーン調達

環境にやさしい企業運営

環境コミュニケーション

環境リスクマネジメント

環境データ

環境報告

マブチグループは、地球環境と人々の健康を犠牲にすることのない企業活動を行い、環境マネジメントシステムを通じて継続的改善に努め、持続可能な社会を目指します。

環境報告

環境マネジメント

当社は、1999年より本社及び全生産拠点に「環境マネジメントシステムISO14001」を導入し認証を取得しています。また、グループ全体及び本社、各拠点・各部門において環境目標を設定、徹底したPDCA管理を行い、積極的に環境マネジメントに取り組んでいます。今後も環境マネジメントシステムの継続的な改善を推進し、高いレベルの環境保全活動を実施していきます。



環境マネジメントシステムの構築

当社は、取締役が環境管理統括責任者として、グループ全体の環境マネジメントシステムを管理しています。本社では「環境管理委員会」を設置し、環境管理統括責任者が委員長となり、各部長・室長で構成されたメンバーで、マブチグループの環境方針、環境目標、施策などの審議、決定を行います。また、環境管理委員会の下には、化学物質専門部会、省エネルギー専門部会を設け、それぞれ専門的な施策を提案し環境保全活動を推進しています。



環境監査

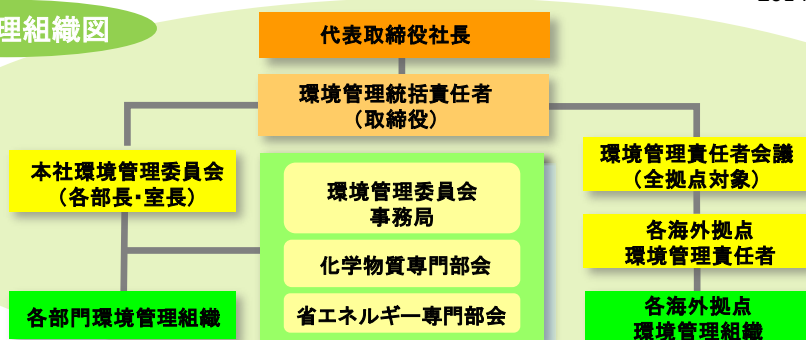
当社の環境マネジメントシステムがISO規格の要求と合致しているか、有効に運営されているかについて、毎年、審査登録機関（第三者）及び社内の監査部門により監査を行っています。

これらの監査を通じて、環境管理レベルの継続的維持・向上を図っています。



2014年度第三者環境監査（本社）

環境管理組織図



マブチグループ環境方針

私たちは、地球環境と人々の健康を犠牲にすることのない企業活動を行い、環境マネジメントシステムを通じて継続的改善に努め、持続可能な社会を目指します。

1. 環境関連の法規制及びその他の要求事項を遵守するとともに、環境汚染の予防・防止に努め、事業活動が環境に与える影響を常に認識し、自主基準を設定して管理します。
2. 事業活動に伴う主要な環境負荷を軽減するため、以下について重点的に取り組みます。
 - 2.1 CO₂の削減と限りある資源を有効活用するために、省エネルギー、省資源化、リサイクル及び廃棄物の減量化に積極的に取り組みます。
 - 2.2 製品及び製造過程において、環境負荷物質の管理を徹底し、環境に負荷を与える物質は可能な限り代替物質への転換を行います。
 - 2.3 環境に配慮した部品・材料を積極的に使用する“グリーン調達”を行います。
 - 2.4 生物多様性の保全を企業の重要な課題と認識し、生態系に配慮した取り組みを推進します。
3. 従業員一人ひとりの環境に対する意識の高揚を図るため、積極的に教育活動を行います。
4. この環境方針は、全従業員に周知するとともに、社外に公表します。

マブチモーター株式会社
代表取締役社長

大越博雄

制定： 1998年9月27日 改訂： 2013年3月28日

グリーン調達



日常のお取引先様とのコミュニケーションや、環境

今後も、お客様、お取引先様とともにグリーン調達活動を進めていきます。



グリーン調達フローチャート



環境にやさしい企業運営

当社は海外拠点を含むグループ全体で、企業運営という視点でも、地球環境を保護するためにさまざまな工夫、改善、対策を継続的に実施しております。



ダナンマブチが政府より表彰

ダナンマブチは、2014年にベトナム国家グリーン優良企業BEST30社として選ばれるとともに、下記のことが認められ、「国家グリーン環境推進賞」を受賞いたしました。

- 1) 会社に環境方針が定められている。
- 2) 工場運営において、環境負荷物質の使用禁止を厳しく管理している。
- 3) 環境配慮された製品を生産している。
- 4) 環境及びその他の法規制の違反がない。

この賞は、ベトナム政府が全国の企業にベトナムの環境保護及びそのための先端技術の運用を促すために2013年度に新設されました。



受賞式と賞状（ダナンマブチ）



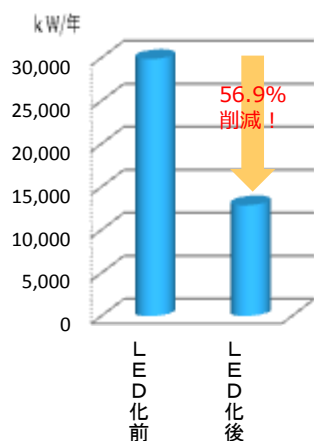
本社のLED照明化工事

東日本大震災に伴う電力不足以降、当社本社では社内照明を必要最低限にまで落とした形で運用してまいりました（当社「社会・環境報告書2012」ご参照）。

この度、省エネ照明器具の技術の進歩事情を勘案した結果、これまで実施してきた必要最低限の社内照明による省エネから、LED化による省エネヘシフトすることで、社内照明を順に通常のレベルに戻すことを考えています。

2014年度は、来訪者及び社員が頻繁に使用するロビー階と1階共用エリアから、照明器具をLED化することにいたしました。その他のエリアについても今後、計画的にLED化を進めてまいります。

【本社棟照明2014年度LED化の省エネ効果】



新工場建設時の環境に配慮した取り組み

2015年竣工を目指して建設中のメキシコマブチにおいても、省エネルギーへの取り組みとしてLED照明の採用、節水に配慮した植栽計画や衛生器具の採用を計画しております。



メキシコマブチ完成予想図



メキシコマブチ起工式の様子





環境にやさしい設備を採用

大連マブチ及び瓦房店マブチで大型空調用冷凍機に水質汚染の恐れのある冷媒「臭化リチウム」を使用しない機種を採用するなど、工場内で使用するユーティリティ施設でも環境に配慮した取り組みを進めています。



新型冷凍機（大連・瓦房店マブチ）

また瓦房店マブチが所在する地域はまだ公共の下水浄化施設が整備されていないため、工場周辺の河川の水質を保護するために、工場建設と同時に、工場独自の下水処理施設を設けました。その後、工場の生産拡大、人員の増加により、足りなくなった処理能力を増強するため、2014年、改良工事を行いました。

改良後の下水処理システムは、一日最大450トンの下水を、中国遼寧省下水総合排基準をクリアできる水質まで処理できるようになり、周辺地域の河川、土壌の環境保護に貢献しています。



下水処理システム（瓦房店マブチ）



環境にやさしい工程改善

道ジャオマブチでは、コーティング工程の沈殿槽内の冷却水熱交換装置の設定温度を変更することにより、装置の稼働を減らし、省エネ効果が出ております。

また、各生産拠点において、ここ数年省人化自動機が多数導入され、工場エアの消費が増加していますが、それぞれの拠点にてエア漏れ防止の改善に取り組んでおります。各拠点間でコミュニケーションを図り、工場エア管理に関するツールを紹介して、より一層の使用量抑制につなげる活動をしていきます。



照明のLED化活動

大連マブチはエネルギー使用量を削減するため、工場内で使用している蛍光灯のLED化を推進しています。2014年度に工場内の約50%の蛍光灯をLED化しました。



蛍光灯のLED化（大連マブチ）



新工場棟の環境保護対策推進

2014年8月、瓦房店マブチは、地球環境、特に大気環境を保護するため、工場内の暖房などに使用していたボイラーを停止し、現地政府が推奨している集中供熱システムを導入いたしました。

この対策により、例年約3,500トン（2013年実績）ほど消費していた燃料用石炭が不要となり、煤塵もなくなりました。



集中供熱システムを導入前のボイラー室（瓦房店マブチ）



集中供熱システムを利用した後の工場内

路東マブチと本社の協業により、めっき排水処理装置の新基準対応とその生産性向上を実現

担当者に聞く！

他社に先駆けて、規制が強化された排水基準をクリアしました。品質と生産性の更なる向上と環境法規制遵守に努め、生産技術革新に挑戦します。



環境コミュニケーション

当社は、さまざまな媒体を通じて、環境への取り組みにおける理念や、環境マネジメント活動の情報を社内外に向けて発信しています。これらの活動を通じて、社員にはもちろん、お取引先様をはじめ、広く社会の皆様にも、当社の環境保全への姿勢、取り組みへの理解を深めていただけるようにしています。

社会・環境報告書の発行 及びホームページによる環境情報発信

2001年より、当社の社会貢献・環境保全活動の実績をまとめた「環境報告書」（2008年に社会・環境報告書に変更）を作成し、ホームページ上で公開しています。



ホームページ環境・社会貢献活動情報

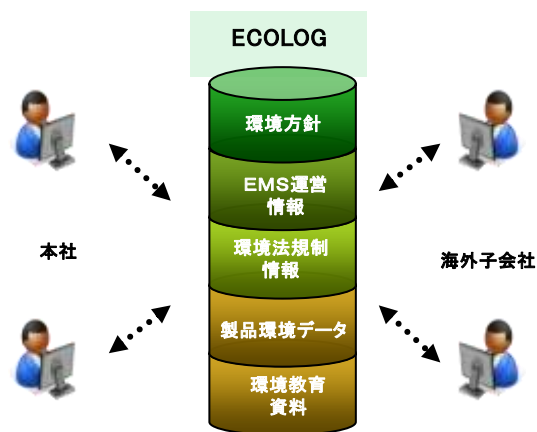


環境コミュニケーション活動の展開

グループ全体で、環境情報の共有化及び環境保全活動を効率的に行うため、2000年から本社及び海外拠点の環境管理責任者で構成される「環境管理責任者会議」を毎年開催しています。

また、社内イントラネット上に「ECOLOG」という環境情報を集約したデータベースを作成し、グループ全体で運用しています。本社をはじめ世界各地の社員が、この「ECOLOG」を通して、さまざまな環境情報を共有し活用しています。

その他、社内報に環境情報を掲載し、当社の環境対応の現状や、最新の環境情報を紹介して社員の環境意識の向上を図っています。



環境管理責任者会議（テレビ会議）



社員食堂に掲示されている環境関連情報（本社）



2014年度コンテスト受賞作品展示（本社）



環境を考える標語・ポスター作品コンテスト

社員の環境意識の向上を図るために、2006年より毎年、マブチグループ全体で「環境を考える標語・ポスター作品コンテスト」を開催しています。
2014年は本社・海外合わせて13拠点から集まった116点の作品から選ばれた受賞作品を本社食堂に展示し、環境意識をより一層高めています。

☆2014年度の受賞作品

標語部門

- Chúng ta có nhiều màu da, có nhiều ngôn ngữ, có nhiều sắc tộc nhưng chúng ta có chung “1 trái đất”.
Hãy bảo vệ của cái chung để bảo tồn những cái riêng đó.
肌の色・言語・人種が違って「地球」を共有している。その地球を保存できるよう
共有財産を保護しましょう（ダナムブチ）
- 环保活动, 从我做起, 从小事做起, 从现在做起
環境活動は私から 手が届く小さなことから始めよう（道ジャオマブチ）
- 金钱是一时的利益 环境是永恒的资本
お金は一時の利益 環境は永遠の資本（江蘇マブチ）

ポスター部門



『GREEN PRODUCTS
いつか子供たちに伝えたい』
（道ジャオマブチ）



『マブチモーターから
環境配慮の芽を育てよう』
（江西マブチ）



『僕の家、どこへ行ったの?』
（鷹潭マブチ）

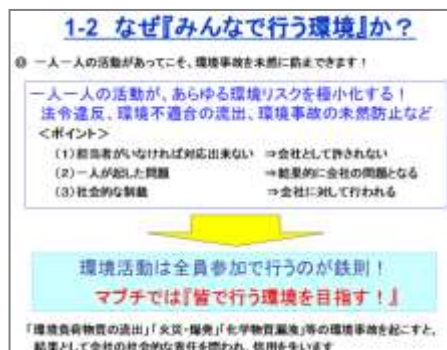
環境リスクマネジメント

当社は、環境に重篤な影響を及ぼす事故(環境事故)を未然に防ぐため、徹底した化学物質の管理を行うとともに、緊急時に速やかに対応できるよう教育・訓練を行っています。



環境教育

社員の環境に関する意識、緊急事態発生時の対応スピードの向上を図るために、階層別、目的別の環境教育・訓練システムを構築し、実施しています。



化学物質を扱う社員への使用方法教育（鷹潭マブチ）

全社員が共有している環境教育資料の一部（本社）



緊急事態発生時の対応訓練

当社は、緊急事態発生時の環境汚染の予防・拡大防止のため、各業務特性に合わせて、さまざま

なケースを想定した緊急時の処置・通報訓練を年一回以上の頻度で実施しています。



緊急事態発生時のコンデンサー油類漏洩防止訓練（本社）



化学物質漏洩防止訓練（本社）



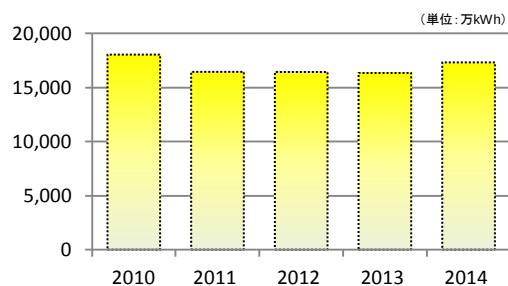
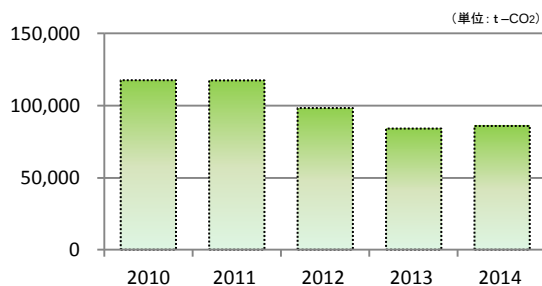
化学品漏洩時の緊急対応訓練（鷹潭マブチ）



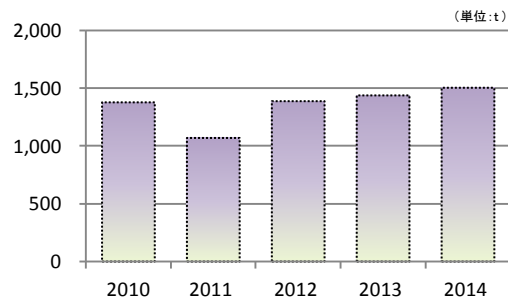
緊急事態を想定した汚染事故防止訓練（台湾マブチ）

※ このグラフはマブチモーター本社及び主な海外生産拠点のデータを元に計算したものです。

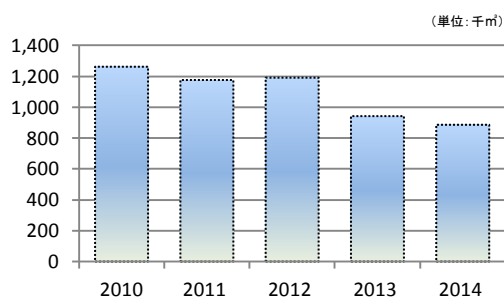
購入電力量

CO₂排出量

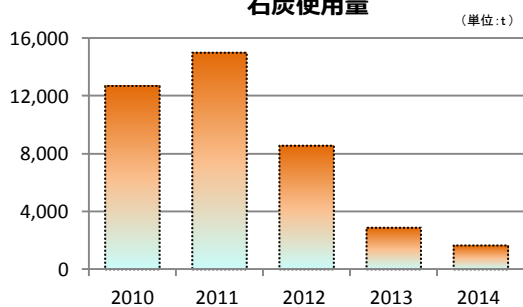
最終廃棄物量



水使用量



石炭使用量



※石炭の全廃に向け取り組んでいます。
(2014年度石炭利用は瓦房店マブチのみ)

	単位	2010	2011	2012	2013	2014
購入電力量	(万kWh)	18,049	16,454	16,443	16,351	17,331
CO ₂ 排出量	(t-CO ₂)	117,618	117,487	98,301	84,057	85,860
最終廃棄物量	(t)	1,377	1,069	1,387	1,437	1,503
水使用量	(千m ³)	1,262	1,176	1,191	942	886
石炭使用量	(t)	12,685	14,986	8,551	2,876	1,650



お問い合わせ

〒270-2280

千葉県松戸市松飛台430

マブチモーター株式会社

管理本部 総務部

TEL:047-710-1111

E-Mail: kankyo@mabuchi-motor.jp

<http://www.mabuchi-motor.co.jp>